

社員・地域社会との 環境コミュニケーションの充実

全社員が日常的に「環境意識」を持って仕事に取り組めるよう、さまざまな環境教育、啓発活動に取り組んでいます。省エネや生物多様性に関するニュースの配信や環境に関する広範な社員教育を実施しています。またエコ川柳・標語の募集といった社員参加型の活動も実施しています。

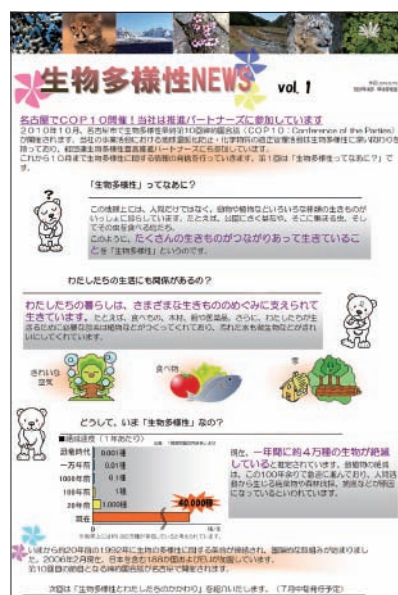
マネジメント

生物多様性への取り組み

2010年10月に名古屋市でCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)が開催されました。それに先立ち当社では、社員ボランティアによる各工場周辺の清掃活動を行いました。この活動は「あいち・なごやクリーンアクション for COP10」に登録されました。また社員の生物多様性への意識向上を狙いとした『生物多様性ニュース』を発行しました。



▲清掃活動の様子(本社地区)



▲生物多様性ニュース

Column

『あいち・なごや
クリーンアクション
for
COP10』とは

COP10開催控え、県民一人ひとりの環境美化意識の向上を図るとともに、生物多様性への関心を高めるために実施された県内一斉クリーン活動。

マネジメント

省エネの啓発

省エネニュースを定期的に発信し、社員一人ひとりが日常的に省エネ意識を高め、自ら行動できるように啓発活動しています。

またクール・ビズ、ウォーム・ビズを奨励して空調エネルギーの低減活動を行いました。

今後もレベルアップをめざして、この活動を維持継続していきます。



▲省エネニュース

マネジメント

「エコ川柳・標語」コンテスト

社員の職場及び日常生活における環境意識の向上を目的に、2010年6月『東海理化 環境月間』行事としてエコ川柳・標語の募集を行いました。優秀作品受賞者には、表彰状と家庭で使えるエコグッズを進呈しました。

総応募数 254点
川柳：171作品
標語：83作品



◀優秀作品の表彰式

▲優秀作品

マネジメント

環境教育の実施

環境保全の概要からISO14001、当社の環境方針や取り組み、社員各自の役割など、環境に関する広範な社員教育を実施しています。特に、環境関連業務の関係者に対しては、外部機関主催の内部環境監査員研修なども活用して専門知識の向上に努めています。

講習修了者・資格保有者(カッコ内は2010年度の数)

環境審査員養成コース修了者	6名(0名)
内部環境監査員養成コース修了者	172名(3名)
公害防止管理者	45名(4名)
特別管理産業廃棄物管理責任者	31名(2名)
エネルギー管理士	9名(4名)

環境教育コース

環境重要設備従事者*

操作手順、維持管理のポイント、異常時対応、緊急時対応手順・訓練について

一般社員

環境方針と自職場の環境側面、各自の役割について

新入社員

環境保全の概要、東海理化の取り組み、ISO14001、全社共通環境対応事項(排水、廃棄物、省エネ)等について

*環境重要設備従事者
環境影響度を考慮し、当社が独自に定めた重要設備(ボイラー、コンプレッサー等)の運転・メンテナンスに従事する者。

マネジメント

内部環境監査員教育

内部環境監査員の力量確保を目的として、2009年度に発足した「スキルアップ教育」の制度を継続的に運用しています。本教育を内部環境監査の資格要件と定め、年次の重点監査項目や環境マネジメントシステムの変化点について理解してもらうことで、内部監査のレベルアップを図っています。

マネジメント

地域懇談会の開催

各工場にて、地域の方々を対象に地域懇談会を開催しました。工場見学などを通し当社の環境活動を知ってもらうとともに、地域の方と意見交換を行いました。



工場見学の様子▶
(豊田工場)